

2-2 組織

2014年度に引き続き、2015年度においても複数の法人又は機関のそれぞれ役割分担の下、SPring-8は運営された。

1) 国立研究開発法人理化学研究所

SPring-8の設置者として、SPring-8の整備、運転・維持管理等及び利用者への放射光の提供に責任を果たすとともに、SPring-8の放射光を利用した新しい領域を開拓するための研究や、常に最善の放射光を発生・供給するための技術開発等を実施した。

2) 公益財団法人高輝度光科学研究センター

国立研究開発法人理化学研究所から委託を受けて、SPring-8の運転、維持管理、高度化及び安全管理等の業務を実施した。

また、特定放射光施設（SPring-8、SACLA）の利用促進業務を行う登録施設利用促進機関として、SPring-8利用者の選定や、利用者に対する情報支援・技術支援等の利用支援に係る業務を実施した。

3) 専用ビームライン設置者

国立大学法人大阪大学蛋白質研究所（1本）、国立大学法人大阪大学核物理研究センター（2本）、産業用専用ビームライン建設利用共同体（2本）、兵庫県（2本）、国立研究開発法人物質・材料研究機構（1本）、台湾・財団法人國家同步輻射研究中心（2本）、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（4本）、株式会社豊田中央研究所（1本）、

フロンティアソフトマター開発専用ビームライン産学連合体（1本）、国立大学法人東京大学（1本）、国立大学法人京都大学（1本）及び国立大学法人電気通信大学（1本）が、SPring-8に設置している専用ビームライン（計19本）を利用して、様々な放射光利用研究を実施した。

さらに、サイト内に設置されているニュースパル放射光施設（兵庫県立大学）や兵庫県放射光ナノテク研究所（兵庫県）を加え、SPring-8サイト全体としてリサーチ・コンプレックスが形成され、最先端の放射光研究が実施された。

研究調整部
鈴木 昌世